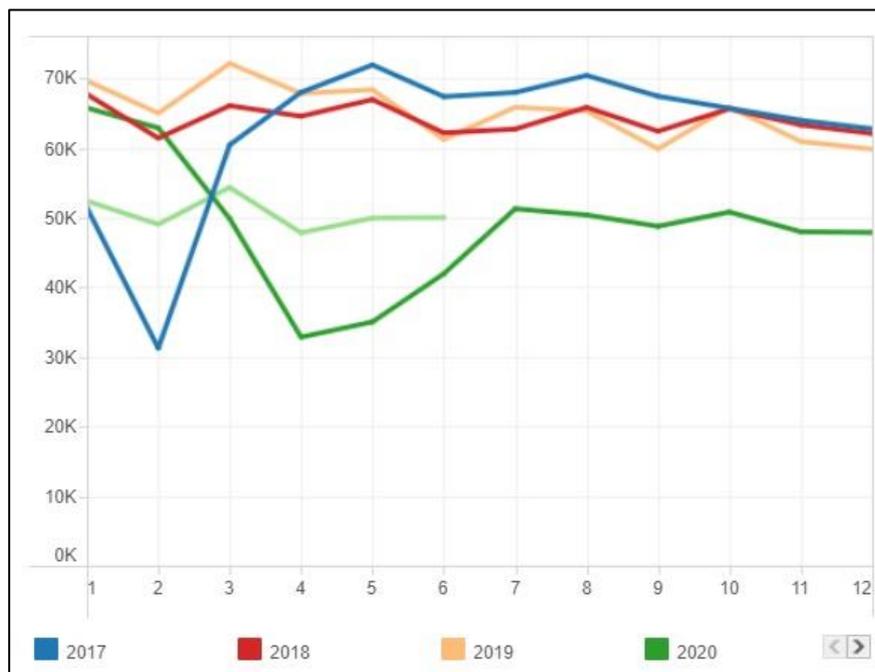


1. 社会・治安情勢

- (1) 2021年のリオのカーニバルが中止されたことに伴い、この時期の観光客も激減し、例年であれば、ゾナスル地区において年間を通じて犯罪発生件数のピークを迎える2月、3月にも犯罪の増加は見られずに推移した。
- (2) 社会的隔離措置の緩和等により街頭には人が戻ってきており、3月以降、犯罪発生件数は前年比で増加に転じたものの、急激な増加にまでは至っておらず、昨年7月頃から概ね横ばいの状態が続いている。

【警察取扱件数：リオ州全体】



2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2021年度第1四半期（4～6月）中のリオ州内における殺人事件発生件数は、798件で、前期（前年度第4四半期）と比べて約14%減少した。
- (2) また、強盗事件発生件数は、29,003件で、前期に比べ12%減少したほか、身近な窃盗事件も僅かに減少した。

(3) 昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大と、それに伴う外出自粛措置による一時的な特殊要因によるものと思われる犯罪件数の激減が認められたが、制限緩和や、緊急援助金の終了、困窮者の増加に伴い、犯罪発生件数が増加に転じている可能性が高い。

(4) 強盗事件等は、新型コロナによる社会的隔離政策が強力に推し進められていた前年同期に比較し、発生件数の増加が認められる一方で、殺人事件については減少している。特に、邦人駐在員が多く居住するイパネマ・レブロン地区においては、昨年7月以降、12ヶ月連続で殺人事件が発生していない。

3. リオ州犯罪発生状況（2020年、2021年）

	第4四半期 (1～3月)	第1四半期 (4～6月)
殺人	920	798
強姦性交等	1,312	1,194
商業施設強盗	969	886
住居侵入強盗	262	255
車両強盗	6,871	6,009
通行人強盗	11,889	10,149
交通機関内強盗	3,066	2,793
携帯電話強盗	4,113	3,600
強盗総数	32,965	29,003
窃盗総数	27,872	26,466
取扱件数	155,676	147,695
※警察介入の際の致死事件	453	350

4. 一般事件等（邦人の安全に係るものを抜粋）

(1) 銃撃戦（イパネマ地区）

5月4日（火）午後3時ころ、イパネマ地区にある衣料品店C&Aに強盗が押し入りました。付近を警戒中のセグランサ・プレゼンチ隊員らが犯行を察知し、犯人との間で銃撃戦が発生しました。犯人は警察による発砲で負傷し、逮捕されましたが、流れ弾等による負傷者は確認されていません。

(2) 強盗未遂（イパネマ地区）

5月6日（木）午後4時ころ、イパネマ地区の海岸沿いビエイラ・ソウト大通りにおいて、けん銃を持ったバイク2人乗りの犯人による強盗未遂事件が発

生しました。犯人達は、通りを歩行していた女性を脅し金品を奪おうとしましたが、女性は抵抗し、付近を巡回中の軍警察が犯行を察知して銃撃戦となりました。犯人2人は逮捕されましたが、付近を通行していた男性1名が流れ弾に当たり足を負傷しました。

(3) 殺人（コパカバーナ地区）

6月9日（水）午後5時ころ、コパカバーナ地区のバー（地下鉄シケイラ・カンポス駅西方約100m）において、女性が銃撃され死亡する殺人事件が発生しました。犯人は、バイクに乗った男性1名で、犯行後逃走しており、未だ逮捕されていません。この銃撃により、女性の近くにいた店員男性1名も負傷しています。犯行動機は不明ですが、銃撃は女性を狙って行われたという目撃情報があります。

5. テロ・爆弾事件発生状況
事件の発生は認知していない。
6. 誘拐・恐喝事件発生状況
邦人被害は認知していない。